

## 落雷事故後の部活動再開に向けた安全管理指針について(改定)

本年度、4月上旬に起こりました本学園第2グラウンドにおける落雷事故以降、本校は「落雷事故後の部活動再開に向けた安全管理指針について」(以下、「指針」)を出して、各保護者会を経て、慎重に部活動を再開してまいりました。

特に第2グラウンドについては、雷注意報が発令されれば直ちに活動を自粛するという極めて慎重な姿勢で、生徒の諸活動を厳しく制限しながら、様子を見てまいりました。

7月に入り、専門家から構成する「帝塚山学園落雷事故調査委員会」の委員も選定され、今後、鋭意調査を進めることとされています。また、第2グラウンドのAEDも1基から3基に増設いたします。

夏休みを迎えるにあたって、より慎重に天候などに留意し生徒の安全に気を配りながらも、現在極めて厳しく制限されている生徒の活動を少しずつ日常に回復させていこうと考えております。

そこで、「指針」を下記のように改定したいと思います。よろしくご理解下さい。

### 記

#### 1 事故調査委員会の提言に基づく再発防止

今後、事故調査委員会の調査により提言される再発防止策に基づき、より充実したソフト面ハード面での安全管理体制を構築し、生徒の諸活動を支援・運営していくこととする。

#### 2 雷注意報などの全教職員による情報共有体制の構築

雷注意報や熱中症警戒アラートなど、生徒の活動に留意すべき情報をメール配信等により全教職員が共有する体制を構築する。

#### 3 学園前キャンパス(第2グラウンド含む)の屋外での活動について

上記「2」により、気象庁の「雷注意報」の発表状況や「雷ナウキャスト」で情報収集を行い、少しでも危険が予想される場合、日程・時間を調整するなどの安全対策を講じる。

さらに、「積乱雲がみるみる大きくなる」「急に冷たい風が吹く」「黒い雲が近づき暗くなる」といった状況が見られ、「雷光が見える、雷鳴が聞こえ」た場合には、躊躇なく直ちに活動を取りやめ、避難することを徹底する。

以上